

令和4年度 事業計画
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

防災技術の指導、知識の普及、防災・救急に関する意識と行動力の向上を図るための事業及び防火・防災の普及啓発に関して、自衛消防業務講習など各種講習の開催や普及啓発用品、防災専門図書の販売などの事業を実施する。

(1) 自主防災指導事業

防火対象物の関係者等に対する防火・防災に係る知識、技術の指導及び自主的な検査の促進並びに休止休業中の対象物の現況調査

ア 防災指導

(ア) 防災指導 (不備有・不備無)

防災指導対象物件数 9,500件

(イ) 防災指導 (小規模)

防災指導対象物件数 980件

イ 自主検査通知業務

自主検査通知対象物件数 9,500件

ウ 休止休業現況調査業務

休止休業現況調査対象物件数 4,900件

(2) 消防訓練指導事業

災害が発生した場合の避難誘導や消火活動などの初期対応が的確に実施できるようにするための、特定防火対象物の関係者等に対する知識及び技術の指導、消防計画に関する指導並びに訓練相談に対する指導・助言

自主訓練指導及び実地指導対象物件数 9,400件

(内 実地指導対象物件数 4,600件以上)

(3) 応急手当普及啓発事業

心肺蘇生法等の応急手当に関する知識と技術の普及啓発により、傷病者の救命率の向上と市民等の自主救護能力の向上を図るための各種講習会を開催

ア 市民及び市内在学、在勤者を対象とした応急手当の指導

(ア) 救命入門コース

実施回数 6回

(イ) 普通救命講習 (I・II・III)

実施回数 455回以上(うちIIは4回)

(ウ) 上級救命講習	
実施回数	58回以上
(エ) 応急手当普及員講習	
実施回数	新規講習 = 27回以上 再講習 = 45回以上
イ 患者等搬送乗務員講習 (患者搬送事業者の乗務員対象)	
実施回数	基礎講習 = 2回 定期講習 = 4回

(4) 阿倍野防災センター事業

阿倍野防災センター「あべのタスカル」の目的及び方針を継続的に果たしていくため、施設のハード面を有効に活用し、ノウハウや創意工夫を活かしたソフト面の事業を実施し、市民に質の高い防災知識技術を普及浸透させ、大規模災害発生時に一人でも多くの市民が「助けられる人から助ける人」へと変わることを目的とした運営管理の実施

- ア 大人から子どもまで幅広い世代の方々の来館の促進
- イ 防災体験学習エリア、防災研修訓練エリア体験者のうち、「助かる力、助ける力が身に付くような知識技術を習得することができた」と答えた体験者の割合
目標 = 全体験者の80%以上

(5) 普及啓発事業

- ア (一財)日本消防設備安全センターからの講習受託事業
- (ア) 自衛消防業務講習
- | | |
|-------------|-----|
| 新規講習 (14時間) | 38回 |
| 再講習 (5時間) | 25回 |
- (イ) 防火対象物点検資格者講習
- | | |
|------------|----|
| 本講習 (20時間) | 2回 |
| 再講習 (5時間) | 5回 |
- (ウ) 防災管理点検資格者講習
- | | |
|-----------|----|
| 本講習 (9時間) | 2回 |
| 再講習 (2時間) | 3回 |
- イ 住宅防火対策や火災予防運動等の啓発行事への協賛
- ・ 住宅防火啓発ポスター製作協賛 (9月頃)
 - ・ 2023おおさかのしょうぼうカレンダー製作協賛 (11月頃)

(6) 普及資材等販売事業

- ア 普及啓発用品、防火・防災用品の斡旋販売
- イ 秋・春の火災予防運動啓発資材の販売
- ウ 防災専門図書の販売
- エ 消防職員（団）礼服等の貸出
- オ 消防関係団体事務局業務の受託
- カ 新規収益事業及び販売事業全般の情報システム化の研究開発